

講演会と交流会は修了しましたので概要を報告します

「ステロイドと免疫抑制剤についての講演会と交流会」

日 時 令和元年 6 月 15 日（土） 13：30～16：00

場 所 サンシップとやま 602・603 号室

参加者 本人及び家族等 51 人

講 師 富山大学附属病院 免疫・膠原病内科

副科長 篠田 晃一郎 氏



患者さんと家族を対象として専門医の講演と、患者さん同士の交流会を行いました。

【篠田先生の講演内容】

以下のポイントで話されました。

1. なぜステロイド／免疫抑制剤が必要か？
2. ステロイドを基礎から学ぶ！
3. ステロイド剤の作用／副作用
4. ステロイド剤の使い方 減量の仕方！
5. 免疫抑制剤について

特に、皆さんの関心の高いステロイドの副作用や減量についてわかりやすく話をされ、最後に以下のようにまとめられました。

- ・ステロイドは現在も治療の中心であるが、可能な限りの減量が推奨
- ・そのために免疫抑制剤、免疫調整剤、生物学的製剤の併用が推奨
- ・副作用の管理もしっかりやること
- ・他院、他科での手術、緊急入院の際には病状、投薬内容を説明すること
- ・悪性腫瘍の検診は自分で意識すること（検診、人間ドック）

【篠田先生との主な質疑応答】

- ・ステロイドの副作用について

副作用には、糖尿病・骨粗鬆症・緑内障・感染症など多くある。それらの出現時期は様々で、時期に合わせた対応が必要であり、予防と早期発見が重要であ

る。

ステロイドは、服用を中止した後、体からすぐ排泄されるので蓄積性はない。服用中止後、副作用は持続するものとしなないものがある。

- **ステロイドと免疫抑制剤の併用について**

うまくステロイドを減量できれば併用しなくても良いという考え方もあるが、ステロイドが 10mg 以上の場合は併用することが共通した治療の考え方である。

＜参加者の感想の一部＞

- 薬剤についてわからないことが多く、診察時にも詳しく聞けないので勉強になった。また、機会があれば参加したい。
- 講演を聞いて自分の病気の治療の見通しが理解できた。
- 皆さんの話を聞いて良かった。自分の体験を通して共感を得ることができた。
- 質疑応答では、明確な説明を聞いて良かった。